

あろじでえ

No. 10

世田谷区教育委員会 民家園係
〒157-0067 世田谷区喜多見 5-27-14

◎ 次大夫堀公園民家園

☎ 03(3417)8492

◎ 岡本公園民家園

☎ 03(3709)6959

平成2年5月1日 発行

平成3年2月 増刷

平成8年7月 増刷

平成12年6月 増刷



〈はじめに〉

昭和23年、国民の祝日の1つとして、5月5日が「こどもの日」に制定されました。子どもたちが幸福に育つようにとの、親たちの願いがこめられてのことです。こどもの日が制定される以前、この日は「端午の節句」とか「菖蒲の節句」、あるいは「五月節句」と呼ばれていました。

現在、男の子のいる家では、5月5日のこどもの日に、庭に鯉のぼりを揚げたり、座敷に武者人形を飾ったりします。女の子の成長を祝う3月3日の桃の節句に対して、五月節句は男の子の成長を祝う日と考えられてきたからです。

五月節句を男の子の節句として、鯉のぼりを揚げたり、武者人形を飾ったりするようになったのは、江戸時代であったようです。というのは、武家社会としての江戸時代は、特に男の子が強く勇ましく育つことが望まれました。そのため、親たちは、わが子のたくましい成長を願い、兜や武者人形を飾りました。また、鯉が勢いよく滝を登るように、わが子の立身出世を願い、鯉のぼりを揚げたのです。

〈5月と農耕との関係〉

ところで、五月節句には、農作物の豊作を祈願する行事がありました。各地から報告されている事例として、「菖蒲打ち」と「女の家」を説明いたします。

五月節句



（菖蒲打ち）

菖蒲打ちとは、菖蒲の束を男の子たちが手に持って地面を打ち、その音の大きさを競い合った行事です。地域によっては女性の尻を叩くこともしました。

現在では既に行われなくなってしまいましたが、新潟県北蒲原郡では、5月5日に、卯木や桑の木に菖蒲と蓬を巻き付けた棒を持った男の子たちが、村の家々を訪れました。そして、円陣を作り、皆で地面を叩きながら「菖蒲叩きの鐘叩き、菖蒲と蓬を刈り交ぜて、今年の作のよいように、何と名を付けようば、八幡太郎と名を付けて今年の作のよいように」と2度繰り返していたということです。この唱えごとには豊作を願う気持ちが込められています。



（菖蒲打ち）

（女の家）

五月節句に、家の軒や屋根に菖蒲や蓬を挿す行事がありますが、地域によっては、このことを「女の家」「女の夜」「女の屋根」などと呼んでいます。

例えば、

- ◇ 神奈川県津久井郡では、5月5日に、菖蒲・蓬を軒に挿すことを「女の屋根」と呼びます。
- ◇ 大分市鶴崎では、5月5日に、菖蒲・蓬を屋根に挿し、その日1日は「女の家」と呼びます。
- ◇ 徳島県名西郡では、5月4日の夜を「女の夜」と呼び、愛知県江南市では「女の晩」とか「女の天下」と呼びます。
- ◇ 愛知県一宮市では、5月5日に、菖蒲・蓬で屋根を葺くことを「葺き籠り」と呼びます。そしてその夜一夜は「女の家」として、男は客となり、蕎麦・そら豆の入った五目飯のご馳走を振る舞われます。また、この夜だけは畳半畳が女の領分と言われていました。

こうした「女の家」と呼ばれる行事は、田植え前に女性たちが過ごした「忌み籠りの生活」を伝えるものと考えられています。

では、なぜ、5月に女性が「忌み籠もりの生活」を送らなければならなかったのでしょうか。

5月の別名を「サツキ」とも呼びますように、この月は田植えを行う重要な月でした。（民家園発行の『稲作と祭り』をご覧ください。）現在は農業機械も発達し、化学

薬品も普及していますが、こうした物のない時代は、農作業は大変な重労働でした。また、以前は天候の影響を受けやすく、害虫による被害も今では想像もできないほどひどいものであったようです。そのため、人々は田の神様をお祭りし、豊作を祈ったのです。

神祭りの前には、日常の生活から離れた清浄な場所で過ごし、心身ともに清らかな状態にならなければなりません。特に、実際に田植えを行う「早乙女」と呼ばれた女性たちは、田植えの前に、田の神様をお祭りしなければならなかったのです。女性が籠る家に菖蒲や蓬を挿したのは、これらの植物の強い臭いが、邪悪な物を追い払うことができると信じられていたからでしょう。

地域によっては、5月のことを「イワイヅキ」「ツツシミヅキ」「カミサマヅキ」などと呼びますが、これらの言葉には人々の慎みの気持ちが表されています。

〈おわりに〉

これまで述べてきましたように、5月5日の五月節句には、男の子の成長を祝う行事以外にも、農耕儀礼としての行事がありました。そして、この農耕儀礼としての「女の家」から、私たちは、一般的に男の子の行事と言われている五月節句に、女性が深くかかわっていたことを学ぶことができるのです。

文化財資料調査員 高見寛孝

